



日本飛行機株式会社

環境・社会報告書

2014



ごあいさつ



取締役社長
早野幸雄

「環境・社会報告書 2014」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は1934年の創業以来、本年で創業80年を迎えました。80年にわたり事業を継続できたのは、地域・社会の皆様からのご支援によるものと深く感謝申し上げます。

当社は、CSR活動の主要テーマである「環境」「社会貢献」については、環境方針のもと、資源・エネルギーの有効利用、環境負荷の軽減等、継続的に地域を含めた環境保全活動に取り組んでいます。

特に本年2月には、当社厚木工場において積雪による建屋災害が発生しましたが、幸い周辺地域・住民の方々への環境被害は無く、その後の二次災害の発生防止に万全を尽くし、復旧に取り組んでおります。

これからの復旧・再建にあたっては、特に環境保全・地域社会との共生を意識した事業活動に資することができるよう、具体的な姿を描き実現してまいります。



常務取締役
(環境管理統括者)
津嶋輝好

2014年6月に代表取締役常務に就任いたしました津嶋です。環境管理統括者として一言ご挨拶申し上げます。

当社は今年、創業以来80年という節目の年を迎えることができました。これもひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

そして、今後とも皆様のご期待に応え、社会との共生を図る企業として永続すべく、メーカーとして、事業者として、そして地域社会の一員として何をすべきかを常に考え、実りのある活動を実践して参りますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

さて、当社は「社会的責任」への取り組みとして主要テーマである環境保全においても、「持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する」ことを基本理念とした環境方針を設定し、様々な活動に取り組んでいます。

特に、従業員一人ひとりが地球環境と地域社会を意識し、身の回りからできることを愚直に継続的に実施することが重要であり、それが企業としての活動の原動力でもあると考えています。

ここに、当社の活動の一端をまとめた「環境・社会報告書 2014」を作成いたしましたので、是非ご一読いただき、当社の活動にご理解をいただくとともに皆様からのご指摘・ご意見を賜れば幸甚に存じます。

体制

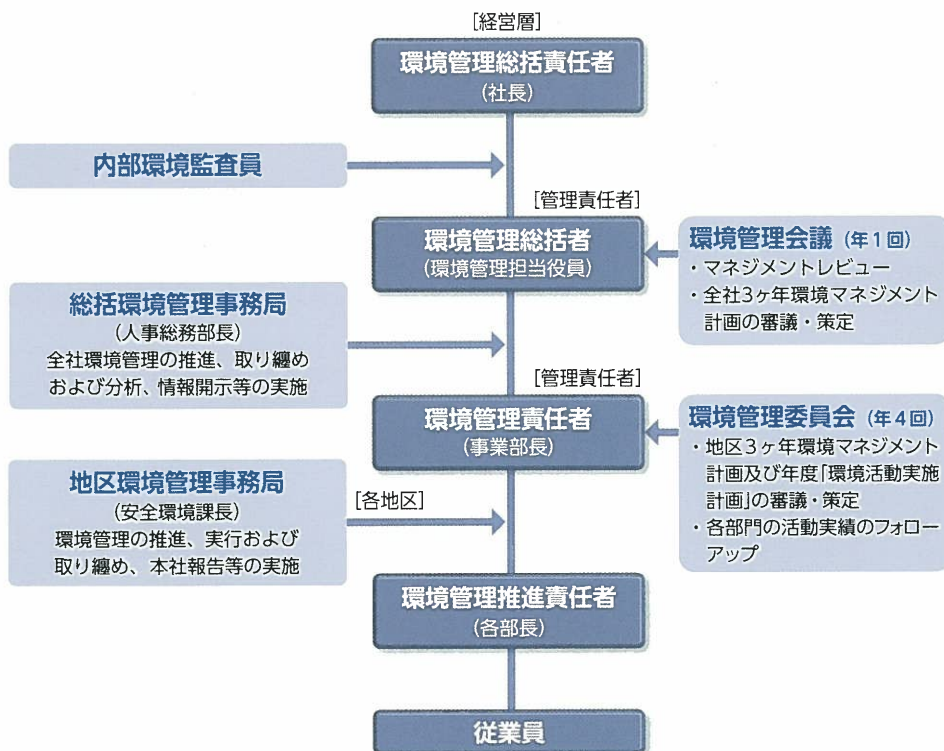
私たちは「環境管理統括責任者」(社長)をトップとした体制を構築し、環境負荷軽減に向けた取り組みを推進しています。

会社全体としては、「環境管理統括者」(担当役員)を議長とする「環境管理会議」を毎年開催しています。

3ヶ年活動実施計画の策定及び評価を行い、運用状況をチェックすることによって、環境負荷軽減に向けた仕組みが効果的に機能している事を確認しています。

また横浜と厚木の両事業部は、「環境管理責任者」(事業部長)を議長とする「環境管理委員会」を毎年、3ヶ月毎に開催しています。

年間活動実施計画の策定及び評価、法令遵守状況の監視等を行う事によって、地区における環境保全活動を推進し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。



当社は ISO14001 を 2006 年に取得し、環境管理を継続的に改善しています。

環境方針

基本理念

日本飛行機株式会社は、航空宇宙の分野で製造と整備を核に高品質の製品・サービスを社会に提供する専門企業である。当社は、地球環境問題が次世代以降にも及び社会構成員すべてに関わる最重要課題の一つであることを認識し、持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する。

基本方針

1. 製品の研究、開発、設計、製造、修理、整備を中心とした事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え使用資源・エネルギーの有効利用、環境汚染物質並びに廃棄物の分別・処理の適切な管理及び削減を通じて地球環境の保護と地球環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動に当たっては、環境に影響を及ぼす活動、製品及びサービス（以下、環境側面と呼ぶ）に関連する国際条約、法律、規則及び協定を厳守する。
3. 全社の環境側面並びに法的要求事項等から環境目的及び環境目標を定め、定期的に見直すことにより、継続的に環境保全活動の質の向上を図る。
4. 環境教育により社員及び当社のために働くすべての人の環境保全活動に対する理解と、環境に関する意識向上を図る。
5. 環境保全などの活動に地域社会の一員として積極的に参加すると共に社員及び当社のために働くすべての人の参加を推奨し、支援する。
6. この環境方針を実行し、維持すると共に社員及び当社のために働くすべての人に周知する。また、この方針は外部からの要求に応じ随時提供できるものとする。

活動の状況

地域社会との関わり

各地域における工場周辺の環境美化を目的に、清掃活動として工場周辺・一般道やその周辺のゴミ拾いを実施しました。近隣地域の清掃等をする事により、地域社会への貢献と、改めて“分別・削減・マナーの向上”について従業員一人ひとりが自覚し、身の回りから地球環境への意識向上に心掛けております。

横浜地区工場周辺の清掃活動



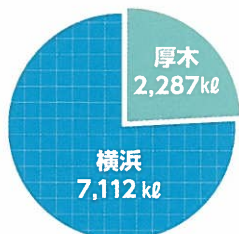
厚木地区工場周辺の清掃活動



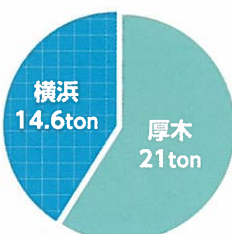
事業活動による環境負荷

▼ インプット

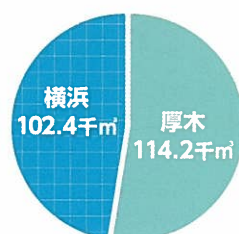
エネルギー（原油換算）
9,399kℓ



PRTR届出対象物質
35.6ton



水質資源
216.6千㎡



▼ アウトプット

| | | 横浜地区 | 厚木地区 |
|------|-----------------|-----------|----------|
| 大気放出 | CO ₂ | 12,184ton | 3,490ton |
| | PRTR 届出対象物質 | 8.0ton | 18.0ton |
| 廃棄物 | 一般廃棄物 | 27ton | 89ton |
| | 産業廃棄物 | 485ton | 177ton |
| | 特別管理産業廃棄物 | 275ton | 5ton |
| 水系排出 | 下水 | 52.0 千㎡ | 37.7 千㎡ |
| | 河川等 | 32.0 千㎡ | 76.5 千㎡ |
| | COD*1 | 1 未満 ton | 1 未満 ton |
| | BOD*2 | — ton | 1 未満 ton |

*1 化学的酸素要求量 *2 生物化学的酸素要求量

地区別活動報告

横浜地区 (本社、航空宇宙機器事業部)



所在地 神奈川県横浜市金沢区昭和町 3175

土地面積 151,575㎡

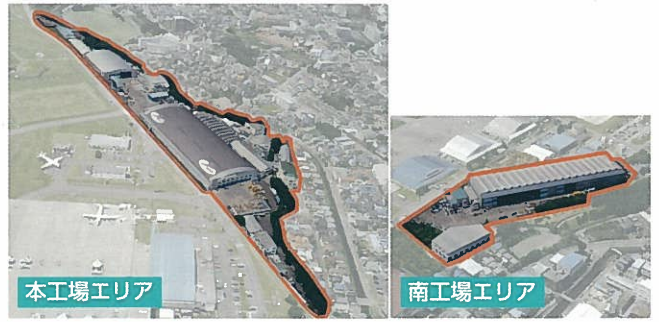
事業内容 航空機部分品、標的システム、
ロケット部分品、宇宙機器の製造

●主な環境活動内容

| 実施項目 | 目標 | 実績 |
|--------------|---------------------------|---------------------------|
| エネルギー単位の削減 | 0.254kℓ/百万円 H23年度比1%削減 | 0.248kℓ/百万円 H24年度比3%削減 |
| 一般廃棄物の削減 | 2009年より運用管理に移行済み | |
| 汚染防止のための設備更新 | 4件 | 4件 |

※エネルギーの原単位：(電気、燃料などのエネルギー総量)/売上高

厚木地区 (航空機整備事業部)



本工場エリア

南工場エリア

所在地 神奈川県大和市草柳 2-28

土地面積 67,918㎡

事業内容 航空機の修理、整備及び改造

●主な環境活動内容

| 実施項目 | 目標 | 実績 |
|--------------|------------------|-------------|
| エネルギー単位の削減 | 0.330kℓ/百万円以下 | 0.312kℓ/百万円 |
| 一般廃棄物の削減 | 2012年より運用管理に移行済み | |
| 汚染防止のための設備更新 | 1件 | 1件 |

全社的に活動内容を評価しますと、3ヶ年計画内では目標を達成しました。
年度ごとに見ると、未達成項目がありますが、関係部署毎にデータの分析を推進し、今後も継続的に改善を推進してまいります。

環境活動と社会貢献

全社省エネ管理教育の実施による 省エネ活動の推進



賞味期限の迫った災害備蓄品 (保存パン) 寄贈による社会貢献



エコキャップ回収による ポリオワクチンの寄贈



関連業界や 地域からの情報、 苦情及び法令遵守状況

2013年4月～2014年3月の期間中では、近隣住民から以下のような苦情がありました。

その他、法令違反、行政処分等はありませんでした。

●横浜地区敷地境界線付近の雑草から羽蟻、蜂、ムカデなどが湧いて困っているとの苦情があり現地を調査後、草刈りを実施し通報者へ報告を行い処置は完了いたしました。
今後も法令を遵守し、地域環境に配慮した事業活動を推進してまいります。



日本飛行機株式会社

〒236-8540 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175
TEL : 045-773-5100 FAX : 045-773-5102

<http://www.nippi.co.jp>

※本書の内容は弊社のホームページでもご覧いただけます。

本掲載データは、2013年4月～2014年3月を対象としています。

- この印刷物は、「FSC 認証紙」とVOC(揮発性有機化合物)成分含有率1%未満の「VOCフリーインキ」を使用し、廃液で環境を汚さない「水なし印刷」を採用しています。
- 印刷は、風力で発電された「グリーン電力」100%(78kWh)でまかなわれています。
- デザインは、配色や文字の大きさ、使用フォントなどで見やすさを追求した「MUD(メディア・ユニバーサル・デザイン)」仕様としました。